

令和5年度事業計画

当協会は、「売れるものづくりを支援する」、「生産者と消費者の信頼関係を築く」、「すぐれた県産農産物を広く紹介し、販路拡大に努める」との基本方針のもと、県産農産物全体の生産振興及びブランド向上に努めている。

引き続き、農業を取巻く情勢に的確に対応しながら、当協会が商標権を持つ「とちぎ和牛」はもとより、生産拡大が進む「とちあいか」等の「いちご」や消費拡大に取り組んでいる「お米」を中心に「にら」や「梨」、「花」などに加え、各農産物や地域ブランド農産物についても、県や関係団体と連携の下、SNS・オンラインの活用や実需者・消費者とのネットワークづくりに努め、以下の事業を重点的、効率的に展開する。

1 産地づくり支援事業 15,841千円（前年17,150千円）

消費者が求める安全・安心な農産物の生産とマーケットイン産地の育成を基本に、生産部会の活動を通じて、新品種・新技術の普及支援、技術の高位平準化など生産対策を行うとともに、次代を担う生産者の育成を支援する。

(1) 生産振興推進 7,000千円（前年7,000千円）

① 生産部会活動

- ・生産5部会（いちご、野菜、果樹、花き、特産）の運営
- ・専門部・研究会等活動や展覧会開催等の支援
- ・いちごや野菜等目揃会の共催や協力
- ・新品種とちあいか、野菜等の栽培技術研修会の開催 等

② 各グランプリや共進会等の開催

- ・「いちご王国グランプリ」、「冬春トマトグランプリ」、「なしグランプリ」の開催の内容、方向性等について検証
- ・栃木県肉用牛総合共進会
- ・にっこり大玉コンテスト
- ・栃木県花の展覧会
- ・花き立毛共進会（スプレーマム研究会、カーネーション研究会、トルコギキョウ研究会）

③ にら産地No.1 奪回運動の展開及び野菜産地の育成支援

- ・にらの生産振興支援及び技術セミナー開催
- ・野菜の全国研修会参加支援

④ 生産者大会等の開催

- ・花き生産者大会の開催
- ・全国ナン研究大会栃木県大会準備委員会及び実行委員会の運営

(2) いちご高品質化対策 1,226千円（前年2,405千円）

① J A出荷者のいちご高品質流通対策

・品質確認検討会の開催や量販店等での品質抽出検査実施等

② 個人出荷者のいちご高品質流通対策

・品質安定化研修会の開催等

(3) オリジナル品種ブランド管理 1,000千円(前年1,000千円)

県種苗条例指定種苗生産等計画策定者としての対応、栃木県オリジナル品種の種苗許諾管理

いちご(スカイベリー、とちあいか、なつおとめ、ミルクベリー、とちひめ)、なし(きらり、おりひめ)、うど(栃木芳香1号・2号)、あじさい(パラソルロマン、プリンセスリング、エンジェルリング)、りんどう(栃木r2号・3号)等

(4) 施設園芸生産者の技術・経営の高度化

6,265千円(前年6,265千円)

収益力が高いトップクラスの経営者育成のため、トマトやいちご、なし、花きに加え、にら、アスパラガス等へのスーパーコーチ派遣や成果報告会、改善事例集作成等

(5) スマートなし園推進 <組換新規> 350千円(前年480千円)

なし栽培におけるスマート農業機器導入に向けた研修会の開催等

2 販売戦略等策定支援事業 15,641千円(前年16,339千円)

県産農産物のイメージアップやブランド力向上を図るため、関係団体や地域マーケティング協議会等と連携し、“とちぎブランド”及び“地域ブランド”の確立、販路拡大等の支援を行う。

(1) とちぎブランド推進 2,160千円(前年1,860千円)

① 県産農産物のブランド向上対策

・“とちぎブランド”としての認知度向上のため農産物電子カタログ等の有効活用

・メディア等を活用したとちぎの米ブランド力発信

・栃木県肉用牛総合共進会開催及びとちぎ和牛ブランドアピール

・にっこりブランドの大玉魅力再発信 <新規>

・京浜栃木青果物流通協議会の活動支援

② 地域ブランド農産物管理

・地域ブランド農産物認証制度の登録・更新等

③ 地域マーケティング協議会の活動支援

・地域協議会が行う地域ブランド農産物や6次産業化商品等の販路開拓、PR等支援

(2) プレミアム商品ブランド力向上対策

2,142千円(前年2,142千円)

- ① 「栃木プレミアム」生産者団体等の認証等
 - ・スカイベリー及びにっこの認証推進、既認証団体等の取組支援等
- ② 「とちぎの星」プレミアム商品づくり
 - ・「栃木プレミアム」化に向けた食味審査会や周知講演会の開催等
- (3) 「とちぎ和牛」商標管理 9,500千円(前年9,500千円)
とちぎ和牛の商標管理及び認定促進
- (4) 県産花き販売強化対策 1,839千円()
 - ① 生産者直接販売の支援
 - ・花き部会が取り組む生産者による販売支援
 - ② EC活用による販売支援
 - ・生産者のECサイト登録や花きPR等の取組支援

3 県産農産物に関する情報の受発信事業

29,524千円(前年31,856千円)

県産農産物の利用や消費の拡大を図るため、県産農産物を総合的にとらえた情報発信やイベント、宣伝活動等を実施する。

- (1) とちぎブランド農産物情報発信 3,850千円(前年2,415千円)
 - ① 各種媒体を活用した情報発信
 - ・広く消費者等に対し、協会HPや協会誌、Facebook、インスタグラム、各種メディア等を活用した情報発信
 - ② LINE公式アカウント「とちぎ農産物♡クチコミ」運営
 - ・情報発信及びお友達登録の推進
 - ③ 農産物電子カタログ等の活用拡大
 - ・飲食店等向けへの農産物電子カタログの充実及びラインを活用した旬の農産物や地域ブランド農産物等情報の定期的な発信等
 - ④ クチコミ隊の運営管理
 - ・県産食材の消費拡大に向けた情報発信、各種アンケート調査等
 - ⑤ 牛乳、乳製品等の普及推進支援
 - ・酪農に係る情報発信や牛乳普及等の支援
 - ⑥ かんぴょう・こんにゃく等特産品の消費拡大
 - ・特産料理講習会の開催等
 - ⑦ 農林水産祭参加
 - ・農林水産省等主催の「実りのフェスティバル」で県産農産物の展示、販売等
 - ⑧ 県産農産物の消費拡大
 - ・いちご、トマトの消費拡大に向け、農業団体やメディアと連携し料理教室や販売等を行う「いちごとトマトフェスティバル」開催
- (2) 県内における県産農産物活用推進 4,950千円(前年800千円)
 - ① 「とちぎの地産地消推進店」の登録推進・管理

- ② 食品ロス削減を考えるセミナー開催 <新規>
- ③ ホテル等で“とちぎのいちご”PR開催 <新規>
- ④ 栃木県誕生150年記念県産農産物魅力発信メニューフェア開催<新規>

(3) 県外における県産農産物活用推進

5,764千円(前年10,145千円)

- ① 「とちぎの旬彩店」の登録推進・管理
- ② 県産農産物情報満載の「とちぎの旬だより」の旬彩店等への提供
- ③ 首都圏で県産農産物を活用したメニューフェア開催
- ④ フェア開催に向け生産者と実需者を繋ぐ産地視察及び交流会開催
- ⑤ 首都圏のホテル等で“とちぎのいちご”PR開催
- ⑥ 関西圏等で県産農産物魅力発信

(4) とちぎの米利用及び消費の拡大 4,760千円(前年4,260千円)

- ① キャンペーン等による魅力発信
 - ・地産地消店等と連携したとちぎのお米“新米フェア”開催
 - ・牛乳と連携し「とちぎの星」消費拡大フェスタ及び野外炊飯教室開催<新規>
 - ・メディア等を活用したとちぎの米ブランド力発信
- ② プレミアム化に向けた「とちぎの星」需要拡大
 - ・首都圏や県内の量販店等での利用促進やPR等
- ③ 消費者団体等と連携したとちぎのお米普及・啓発

(5) とちぎ和牛消費拡大PR 7,900千円(前年10,300千円)

- ① SNS、webサイト等を活用したとちぎ和牛魅力発信
- ② 農業団体が行うとちぎ和牛消費宣伝等への支援
- ③ 食肉まつりによるとちぎ和牛PR

(6) とちぎフレッシュメイトによる県産農産物PR

2,300千円(前年2,000千円)

- ① 22代目フレッシュメイトの認定
- ② イベントやメディア等でPR活動
- ③ 動画の制作配信
YouTubeチャンネルによる生産者紹介や農産物PR等

4 農産物輸出支援事業 17,740千円(前年13,595千円)

人口減少等による国内マーケットの縮小や海外における日本産農産物の需

要の高まり等に対応するため、関係機関・団体・生産者と連携を図りながら、安定的な輸出に向けた支援並びに新たな品目の開拓に取り組むとともに、海外への情報発信を行う。

(1) 県オリジナル品種商標権管理 100千円(前年389千円)
県産農産物の輸出先国における商標権の取得及び維持管理等

(2) 農産物輸出拡大コーディネイト 16,394千円(前年13,206千円)

- ① 輸出促進員等の設置
- ② 産地等に係る支援
 - ・産地に対する輸出相談対応
 - ・海外バイヤーとの商談支援
 - ・輸出に係る研修・セミナー等の対応 等
- ③ 輸出拡大に係る調査
 - ・各国の市場・物流状況の調査
 - ・新たな品目のテストマーケティング調査 等
- ④ 海外バイヤーの招へい
 - ・牛肉及び青果物等に係るバイヤーの招へいによる意見交換等
- ⑤ HP及びFacebook ページ「FRESH FOOD TOCHIGI JAPAN」の活用
- ⑥ 農産物の販売時期における Facebook 広告等の実施
- ⑦ 海外バイヤー等からの問い合わせの対応

(3) 品目団体等との連携 <新規> 1,246千円(―)
国が認定する「認定農林水産物・食品輸出促進団体」への参加

5 花き関連協議会等の運営

(1) 栃木県花き振興協議会

県産花きの生産・供給体制の強化を図り、花き産業並びに花き文化の発展に資することを目的に、国の資金「ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」費を活用し、生産供給体制強化に向けた実証に取り組むとともに、花き流通の効率化の取組や花き利用拡大に向けた花育活動等を行う。

(2) 花咲くとしぎ推進協議会

県産花きの振興を図るため、メディアや飾花展示による花きのPR等を行うとともに、市場関係者に対しても県産花きのPRなどを行う。

(3) 栃木県いちご生産連絡協議会

いちごの栽培技術の向上や苗の確保を図るため、とちあいかの品質向上対策やなつおとめとミルキーベリー苗の希望調査、配布などを行う。